

# DATA FILE

## 関連事項 / DATA

一般社団法人 農業開発研修センター  
〒601-8585  
京都市南区東9条西山王町1  
(京都JAビル)  
☎ 075 (748) 0703

立命館大学 (経済学部)  
〒525-8577  
滋賀県草津市野路東1丁目1-1  
☎ 077 (561) 3940

札幌保健医療大学  
〒007-0894  
札幌市東区中沼西4条2丁目1番15号  
☎ 011 (792) 3350

北海道美唄尚栄高等学校  
〒072-0024  
美唄市西1条南6丁目1番1号  
☎ 0126 (64) 2277

北海道農政部  
〒060-8588  
札幌市中央区北3条西6丁目  
☎ 011 (231) 4111 (代表)

一般社団法人 北海道地域農業研究所  
〒060-0806  
札幌市北区北6条西1丁目4番地2  
☎ 011 (757) 0022  
Fax 011 (757) 3111  
HP : <http://www.chiikinouken.or.jp>  
E-mail : [office47@chiikinouken.or.jp](mailto:office47@chiikinouken.or.jp)



の月日としたところが多いようだが、新暦は旧暦より一ヶ月ほど早まるため季節感にはズレができてしまった。旧暦に換算する方法もあったが、毎年日付けが変わるといふ不都合もあり、月は旧暦に近い時期の八月に、日付けは七日のままとした

## 後編 日記

◆コロナ感染対策の頼みの綱であるワクチン接種が市

見込まれている。暗く長いトンネルの中にいるようであったが、やっと前方にうっすらと出口とおぼしき光が確認できるところまできた感がある。自粛一

と治療の両面からコロナ脅威が克服されていくことを大いに期待したい。

のがもう一方である。実際には七月末などの地域もあり、それぞれが暮らす自然環境や伝統・風習への思い等から多種多様な時期で残されてきた。北海道は八月と言ったものの、実は全道

町村・道・職域単位など本格的に進められており、もうすでに二回とも終了、また一回目だけは終わったという人が周りでも聞かれるようになった。集団免疫レベルにはかなり高い接種比率が必要のようだが、感染拡大や重症化には歯止めがかかるこ

辺倒であった生活スタイルも、ある程度元の状態に戻る日がきそうだ。ワクチン開発では出遅れた日本であるが、治療効果もある中和抗体が国内の大学で開発されたとの報告もあり、予防

◆七夕は七月七日というのが一般的であるが、北海道や七夕祭りで有名な仙台では八月である。明治に入り旧暦から新暦に切り替わったことに起因し、各地域で異なった日程となつてしまったようだ。旧暦の日付けであつた七月七日をそのまま新暦

一緒ではなく、函館や根室は七月であり、地域の歴史にどのようによ来しているのか興味深い。